



- 子ども医療費無料 (18歳まで)
- 保育料の引き下げ 第二子の保育料無料
- 学校給食無料

国民健康保険料の引き下げを!

高い国民健康保険料の引き下げに取り組んできました。平成28年度1億円規模の保険料引き下げが実施されました。引き続き、保険料の引き下げの実現をめざします。また、すべての加入者に保険証を届けるよう求めています。



みなさんの声を市政にとどけます

金沢市議会議員

森尾よしあき

地域

要望実現にがんばります

森山・東山から木越方面に向かう乙丸陸橋のかけかえ

中島大橋の架け替えに次いで、乙丸陸橋の架け替えに取り組んでいます。融雪装置からの水が跳ね返り、通学路となっている歩道に水がかかります。ボードの設置など改善が進んでいます。

コミュニティバスを走らせよう

駅西地域や森本・千坂地域でコミュニティバスを走らせてほしいとの要望が高まっています。昨年12月市議会では、森尾市議が本会議質問で取り上げました。



小中学校普通教室に3年計画で



エアコン設置が実現!

市内の小学校、中学校の普通教室にエアコン設置が実現しました。3年計画で設置する方針です。大規模校の8校。次いで、18校の設置予算が計上されました。早急にすべての学校で設置されるよう取り組んでいきます。



ただ

市民目線でチェック

金沢駅西口の広場横に富裕層のための

外資系ホテルを誘致

- 市の駐車場(250台)を100万円(坪単価)で売却
- 屋根付き通路融雪舗装に6億円

山野市長は、外資系ホテルを誘致するとして次々に利便を図っています。市の用地を売り払い、次に、JR金沢駅の西口からホテルまで屋根付きの通路を建設。ホテルの周辺道路には融雪装置までつくります。そのために、市民の税金6億円を投入します。



もっと届ける声がある。 佐藤まさゆき

もっと実現させたい願いがある。

県議会に送っていただき8年、「くらしの切実な声と原発ゼロの思いを、まっすぐ県政に届けたい」の一の一念で力一杯頑張ってきました。議場では、知事から県民のくらしの痛みに応える声、原発ノーの思いを聞いたことがありません。議会も残念ながら、知事の提案に何でも賛成の状況です。こうした中で、一人意見を言うのは勇気もいります。しかし、たくさんの切実な思いに励まされ、毎議会の質問に立ってきました。子どもの医療費窓口無料をくりかえしもとめ、県の姿勢を変えさせ、今では多くの市町で高校卒業まで窓口無料が実現しました。署名用紙を持って何度も県に要請に来られたお母さんから「これで安心して病院に行けます」と言われた時、議員として頑張ってきて本当によかったと思いました。安倍政治の下、格差と貧困がひろがり、くらしが厳しくなる中、くらし・福祉を守る自治体の役割が切実にもとめられています。「もっと届ける声がある」「もっと実現させたい願いがある」、佐藤まさゆきは全力でがんばります。



声を県政に届ける

●「給付制奨学金を」「小中学校にエアコンを」など県民から寄せられる声を県政に届けるために奮闘。当選以来7年半で162件の請願の紹介議員に。これは全請願の9割近くになります。



力あわせ県政を動かす

●子どもの医療費窓口無料を求める県民の声を力に、くりかえし議会で質問し、県の姿勢を変えさせ、多くの市町が18歳まで窓口無料を実現しました。
●高すぎる県水の料金と責任水量の引き下げ、少人数学級の実現でも、成果を上げてきました。

県政をチェック

●大型開発優先、福祉切り捨てで、土木費は全国上位、福祉・民生費は全国下位となっている県予算の転換を求め、唯一の野党県議として奮闘。
●志賀原発の廃炉、議会の海外視察の中止、知事退職金の減額などを求めてきました。

「消費税10%・9条改憲ノー」の声に答えて

安倍政権は、9条改憲、消費税10%を強行しようとしています。佐藤まさゆき県議は、「増税ストップ、改憲ノー」の声を地方から国政に届ける先頭に立って、県議会でも国民運動でも奮闘しています。

2018年12月県議会

○賛成、×反対

消費税増税中止を求める請願

共産 自民 公明 未来 他
○ × × × ×

ご意見をお寄せください

党石川県委員会・佐藤

TEL 076-243-2877

FAX 076-247-1080

ホームページ

http://masayuki.jcpweb.net/

